

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	空き家対策事業			事業番号	17-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部	吉田 俊	建築住宅課	松木 努	

計 画 (Plan)					
総合計画体系	安心力	まちづくり目標	2	地域で助け合う安全で安心なまち	
		基本政策	5	暮らしの安心がひろがるまちづくり	
		施策展開の方向	8	暮らしの安全を守るまちをつくる	
		施策	17	地域とともに取り組む防犯対策の推進	
予算事業名					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 (選択してください)→			法令上の位置づけ	できる規定がある
事業開始年度	開始年度	平成28年度	～	終了年度	
関連法令等	空家等対策の推進に関する特別措置法				
国・県の計画等				計画期間	
関連個別計画				計画期間	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	全国的に増加している空き家は、防犯・防災上の様々な問題を生じさせ、放置した場合、問題が深刻化することから、平成27年に空家等対策の推進に関する特別措置法が完全施行され、対策が求められています。また、老朽化した危険な空き家は、倒壊等による二次被害や救助活動の妨げになることから、その対策が求められています。				
目的 (何をどうしたいのか)	地域住民の生活環境に様々な影響を及ぼす恐れのある空き家の、適切な管理を促す取組等を推進します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民および空き家等の所有者				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の実態を定期的に把握するとともに、空き家の適切な管理についてシルバー人材センターと連携し、啓発を行います。 ・関係部署と連携し、空き家の相談等に適切に対応します。 ・管理不全な空き家が、「特定空き家」とならないよう啓発を行います。 				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	空き家の状況管理と活用の検討	随時更新・活用検討	随時更新・活用検討		
	適切な空き家管理の周知啓発	広報・ホームページによる周知啓発	広報・ホームページによる周知啓発		
	管理不全な空き家への対応	啓蒙、啓発	啓蒙、啓発		
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			令和3年度	令和4年度	
	特定空き家の発生数	0件 (令和2年度)	0件	0件	



事業実施 (Do)

事業実施 (D○)

事業の「取組方針」 (前年度事務事業評価)	適切な管理を推進するため、空き家の状態を継続的に管理するとともに、所有者の諸事情も把握しながら、効果的な対策を推進します。		
実施方法 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外		
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	委託先又は指定管理者
	<input type="checkbox"/> 補助金		補助先
	<input type="checkbox"/> その他		具体的内容
実施結果	項目	年度	
		令和3年度	令和4年度
	空き家の状況管理と活用の検討	随時更新・活用調査	随時更新・活用調査
	適切な空き家管理の周知啓発	広報・ホームページによる周知啓発	広報・ホームページによる周知・啓発
	管理不全な空き家への対応	啓蒙・啓発	啓蒙・啓発
実施した取組の内容	広報・ホームページにより、空き家の適切な管理に関する周知・啓発を行うとともに、空き家の実態を定期的に調査、データ更新を行い、管理不全な空き家所有者に対し、注意喚起を促す通知を行いました。		
目標の達成状況	【指標名】	【現状値】	年度
	特定空き家の発生数	0件 (令和2年度)	令和3年度 0件 令和4年度 0件

		年度		令和3年度 実績				令和4年度 実績			
内訳	事業費合計 (a)		0		千円		0		千円		
	内訳	国県支出金 ①		0		千円		0		千円	
		地方債 ②		0		千円		0		千円	
		その他特財 ③		0		千円		0		千円	
		一般財源 (a)-①-②-③		0		千円		0		千円	
国県支出金の内容											
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期						
		その他									
人件費	正規職員		0.234	人	1,914	千円	0.261	人	2,237	千円	
	その他の職員		0	人	0	千円	0	人	0	千円	
	人件費合計 (b)		0.234	人	1,914	千円	0.261	人	2,237	千円	
トータルコスト (a)+(b)				1,914	千円			2,237	千円		
単位当たりコスト	対象数	定義	市民				単位	市民			
		対象数	101,381		人		101,119		人		
	総事業費／対象数	19		円		22		円			

評 価 (Check)				
進捗状況 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左判断理由	広報・ホームページにより、空き家の適切な管理に関する周知・啓発を行うとともに、管理不全な空き家所有者に対し、注意喚起を促す通知を行った結果、特定空き家の発生件数を0とすることができました。
実施水準 [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	空き家の実態を定期的に調査、データ更新を行い、空き家対策に関する必要な情報を把握しています。
有効性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左判断理由	特定空き家は、防災、衛生、景観等の地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼすため、適切な空き家管理の周知啓発及び管理不全な空き家への対応は、その発生を抑制する対策として有効です。
効率性 [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左判断理由	平成30年度にシルバー人材センターと協定を締結、以降連携することで、所有者が行う見回りや草刈りなど空き家の管理について、センターを紹介することで適切な管理のための提案をしています。



取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
所管部長による総評	空き家対策を考える上で基礎資料となる空き家の実態調査のあり方を検討するとともに、空き家の利活用など管理不全の空き家を増加させない取組について、引き続き他自治体の実績、先進事例を参考に調査・研究を重ね、本市における有効な対策を推進する必要があります。